

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	色素ゲルを使った照射線量分布測定システムの検討
	研究目的	当院で実施する炭素線治療では、立案した治療計画の最終確認として測定による検証を行っている。(治療計画での計算線量と測定線量の比較により実施, 以下、測定検証と呼ぶ) 実際の治療照射では3次元的に炭素線を照射するが、現在実施する測定検証は測定器の技術面より2次元での検証となり、3次元的な検証が課題となっている。本研究で研究・開発するゲル線量計はその課題を解決するための測定器である。臨床利用に向けて人体組成に合致したゲル材料の開発、照射条件が臨床に近い状態での線量分布比較、照射装置の品質管理への応用検討、を行う。
	研究対象者	2016年8月から2023年3月に重粒子線治療を受けた患者さん
	研究期間	西暦 2020年6月29日 ~ 西暦 2023年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他(治療中の呼吸波形、 <input type="checkbox"/> 毛髪 <input type="checkbox"/> 診療記録       CT画像)	
試料・情報の管理について の責任者	当センター 研究責任者	草野陽介
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	物理工学科、放射線治療品質保証室
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	国立大学法人 横浜国立大学 大学院工学研究院 五東 弘昭 准教授